

# 六・二三 沖繩慰霊の日に思う ★沖繩に真の平和を！

## 一九四五年六月二三日の沖繩

- ◆一九四一年十二月八日の真珠湾奇襲から始まった太平洋戦争。一九万人のアメリカ軍の沖繩本土総攻撃が四五年四月一日から始まりました。
  - ◆日本本土攻撃の時間稼ぎの捨て石とされた沖繩はそれから八四日間に及ぶ悲惨な沖繩戦に突入して行きます。
  - ◆八一年前の六月二三日、ついに日米あわせて二十万を超える死者、うち沖繩県民は四人に一人(二二万人)の命を犠牲にして沖繩戦は終わりました(裏面参照)。
- ### いまでも続く沖繩犠牲の日々
- ◆そして八月一五日敗戦した日本は、一九五二年サンフランシスコ平和条約によって主権を回復しますが、この時沖繩はこれから除外されたのです。その後、アメリカの施政下におかれた沖繩の犠牲は一九七二年まで続きます。
  - ◆この二十年の間、日米政府は本土にある米軍基地を次々と沖繩に移し始めます。気がつくくと日本国土面積の僅か0・6%の沖繩に日本にある米軍基地の70%が集中する沖繩になっていました。
  - ◆さらにその後、米軍兵士の少女暴行事件や米軍機墜落事故、爆音被害など沖繩の苦難と犠牲がいまでも続いています。

## 日本のカナリヤ、沖繩の声を聴こう

- ◆沖繩はいまもカナリヤのように悲しい声を上げています。かつてカナリヤは僅かの危険性も察知して坑夫に鳴き声で知らせました。沖繩もいまカナリヤのようには沖繩と日本の戦争準備に傾く危険性を鳴き声で知らせています。
- ◆みなさん、沖繩の声を聴こうではありませんか。沖繩に犠牲を強いることは止めようではありませんか。
- ◆間もなく沖繩慰霊の六月二三日がやってきます。この日が何を私たちに訴えているのか自分事として日本のカナリヤ、沖繩の声に耳を傾けようではありませんか。

二〇二六年六月十四日(日) 平和スタンディング第10回  
浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中央区紺屋町三〇一―一五  
★スタンディング 毎月第二日曜日・午後一時浜松駅北口プラタナスの木陰

## 「6・18 浜松大空襲と平和憲法を心に刻む集い」のお知らせ

浜松大空襲から81年、空襲被害の実態を記憶し、世界の軍拡を問い、平和憲法の意義を学ぶ集いを持ちます。  
日時 6月18日(木) 18時〜20時  
場所 遠州教会集会室(中央区紺屋町三〇一―一五)



一九四五・六・二三 沖縄戦終結を伝える当時の状況を再現した琉球新聞



☆長い間続けてきた平和行進は、702回をもって終了しスタンディングとなりました。